

# 2013年度(2014年3月期) 第2四半期決算説明会



2013年10月31日

大正製薬ホールディングス株式会社

執行役員 齊藤 隆



# 2013年度第2四半期決算：概要

(億円)

	2012年度 2Q累計	2013年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比
売上高	1,400	1,446	+46	+3.3%	+1
セルフメディケーション	872	914	+42	+4.9%	▲10
医薬	528	531	+4	+0.7%	+10
営業利益	195	215	+20	+10.0%	+10
経常利益	237	256	+19	+8.0%	+11
四半期純利益	127	165	+39	+30.4%	+15

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2013年度第2四半期の概況（1）

## • セルフメディケーション事業（大正製薬 国内）

- 7～9月は健闘したものの、1Qのマイナスをカバーできず、2Q累計では期初計画に未達
- 主要ブランドの実績：
  - リポビタミンシリーズ：  
その他100mLを中心に、期初計画に対して4億円未達
  - パブロンシリーズ：前年実績、計画ともに上回る
  - リアップシリーズ：X5を中心に計画通りの進捗
  - リビタシリーズ：  
計画に対して3億円の未達、対前年実績でも下回る

<ご参考：市場の状況>

– OTC医薬品市場

2013年度2Q(4～9月)：前年同期比▲1.7%

(インテージSDIデータ、金額ベース)



# 2013年度第2四半期 主要ブランド売上高

(億円)

	2013年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比*
リポビタンシリーズ	376	▲6	▲1.5%	▲4
パブロンシリーズ	104	+1	+0.3%	+2
リアップシリーズ	70	+2	+1.6%	0
リビタシリーズ	21	▲4	▲14.0%	▲3
胃腸薬シリーズ	19	▲2	▲5.5%	▲2
ナロンシリーズ	21	+0	+0.1%	+1
コーラックシリーズ	17	▲1	▲6.3%	▲2

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

\*2013年5月10日時点の予想との比較



# 2013年度第2四半期の概況 (2)

## ・ 海外事業

主な内訳

(億円)

	2012年度 2Q	2013年度 2Q	前年同期比 増減		予想比*
海外事業全体	83	130	+47	+57.0%	-
SM海外事業	83	130	+47	+57.0%	+4
海外ドリンク剤	36	48	+12	+33.7%	+2
海外OTC医薬品	43	78	+35	+81.2%	+3
BMS社からの買収分	29	34	+5	+18.1%	-
Hoe社	13	17	+4	+34.3%	-
CICSA社等4社	-	12	+12	-	-
大正オソサパ製薬	-	13	+13	-	-

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

\*2013年5月10日時点の予想との比較



# 2013年度第2四半期の概況 (3)

## • 医薬事業

### – 大正富山医薬品:

- 売上高: 496億円 (前年同期比6.5%増)

#### – 感染症領域:

ゾシン: 適応追加も寄与し、引き続き好調

クラリス: 経口抗菌薬市場の縮小により減少

大正富山医薬品の抗菌薬市場\*シェア: 20%

(\*J01抗菌薬市場)

#### – 炎症・免疫領域:

エディロール: 市場への浸透により、好調に推移

### <ご参考: 市場の状況>

#### – 医療用医薬品市場: 前年同期比+4.3%

- 当社の主力市場である抗菌薬市場は▲1.1%

(経口: ▲3.4%、注射: +1.8%)

(Copyright 2013 IMSヘルス、JPM 2012年4月-2013年9月をもとに作成、無断転載禁止)



# 大正富山医薬品：2013年度第2四半期 主要製品売上高

(億円)

	2013年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比
大正製薬製品				
クラリス	68	▲10	▲12.7%	▲4
エディロール	60	+25	+71.0%	+2
パルクス	40	▲3	▲8.5%	▲2
ジェニナック	32	+6	+24.8%	0
富山化学製品				
ゾシン	122	+20	+19.7%	+8
オゼックス	31	▲4	▲10.6%	▲4

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2013年度2Q：売上高・利益の増減要因

(前年同期比増減額)

売上高 (+46億円)	セルフメディケーション事業 (+42億円)	医薬事業 (+4億円)
営業利益 (+20億円)	売上総利益* +32億円 (売上総利益率* 前年同期62.5%→当期62.7%)	
	販管費 +13億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	▲8億円
	・販売促進費	+14億円
	・広告宣伝費	▲5億円
	・人件費	+4億円
営業外損益:持分法投資利益 6億円(前期並み)		

\*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2013年度：通期業績予想



(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	予想 修正額
売上高	2,945	+93	+3.3%	2,930	+15
セルフメディケーション	1,804	+91	+5.3%	1,812	▲8
医薬	1,141	+2	+0.2%	1,118	+23
営業利益	380	+27	+7.5%	395	▲15
経常利益	465	+23	+5.3%	475	▲10
当期純利益	300	+37	+14.0%	300	-
EPS(円)	369.96	-	-	369.94	-
(参考)					
大正富山医薬品売上高	1,065	+63	+6.2%	1,050	+15

予=予想

注:金額は億円未満四捨五入

増減は百万円単位で計算



# 2013年度：売上高予想

- セルフメディケーション事業

- 国内：売上高予想を下方修正(▲ 24億円)

- リポビタンシリーズ ▲ 6億円
    - リビタシリーズ ▲ 8億円

- 海外：足元の業績を反映、為替(円安)の影響で引き上げ(+9億円)

- 医薬事業

- 大正富山医薬品の売上高予想：上方修正(+ 15億円)

- 中間製品等売上高予想：上方修正(+ 6億円)

(億円)

	2013年度 旧予想	2013年度 新予想	対従来予想比	主な内訳
売上高	2,930	2,945	+15	
SM	1,812	1,804	▲ 8	国内 ▲24 海外 +9
医薬	1,118	1,141	+23	大正富山 +15 中間製品等 +6

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

# 2013年度：主要ブランド・製品売上高予想



(億円)

	2013年度 新予想	前期比増減		2013年度 従来予想	予想 修正額
リポビタンシリーズ	664	▲4	▲0.5%	670	▲6
パブロンシリーズ	263	+2	+0.9%	262	+1
リアップシリーズ	141	+2	+1.4%	140	+1
リビタシリーズ	43	▲4	▲10.5%	50	▲8
胃腸薬シリーズ	40	▲3	▲6.5%	44	▲4
ナロンシリーズ	41	+0	▲1.0%	40	+1
コーラックシリーズ	36	▲1	▲3.1%	37	▲1
ゾシン	250	+35	+16.5%	240	+10
クラリス	175	▲15	▲7.8%	180	▲5
エディロール	125	+37	+42.8%	120	+5
パルクス	80	▲5	▲6.2%	85	▲5
オゼックス	73	▲9	▲11.0%	80	▲7
ジェニナック	70	+9	+15.0%	70	0

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2013年度通期：海外事業

- 市場の拡大に加え、引き続き積極的な販促活動を展開

主な内訳

(億円)

	2013年度 新予想	前期比増減		旧予想*	修正額	主な増減要因
海外事業全体	262	+86	+49.2%	253	+9	
SM海外事業	262	+86	+49.2%	253	+9	
海外ドリンク剤	96	+25	+35.6%	93	+3	タイで増加
海外OTC医薬品	158	+62	+65.0%	155	+3	
BMS社からの買収分 (A)	62	+6	+10.2%	60	+2	
Hoe社	38	+11	+44.3%	38	0	
CICSA社等4社	22	+15	+218.9%	22	0	通期寄与 (前期は6カ月分の寄与)
大正オソサパ製薬	31	+28	NM	31	0	オソサパ社製品通期寄与 +20 (前期は2カ月分の寄与) (A)からの移管 +8

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算  
\*2013年5月10日時点の予想



# 2013年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (+93億円)	セルフメディケーション事業 (+91億円)	医薬事業 (+2億円)
営業利益 (+27億円)	売上総利益* +67億円 (売上総利益率* 前年同期61.8%→当期62.1%)	
	販管費 +40億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	▲9億円
	・販売促進費	+32億円
	・広告宣伝費	+5億円
	・人件費	+10億円
営業外損益:持分法投資利益 17億円(前期並み)		

\*返品調整引当金繰入・戻入調整後  
金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# セルフメディケーション事業：新製品

## <2013年度の主な新製品（予定）>

### <上期>

リポビタミンフィール

エパデールT

ジクロテクトPRO

ヴィックス メディケイテッド

ドロップ ブルーミント

など

### <下期>

ゼナFOーファースト

コパトーン(リニューアル)

皮膚病関連

H&B関連

など

赤文字：発表・発売済みの製品



# 医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

1Q発表時(2013年7月31日)からの変更点はなし  
計画に対し、順調に推移

大正製薬開発品：国内

(2013年10月31日現在)

	特長他 予定適応症	開発形態	オリジン
申請中			
TS-071* (経口)	<u>SGLT2阻害作用</u> 2型糖尿病	自社	大正製薬
フェーズ3			
CT-064** (経口)	<u>ビスホスホネート系骨吸収抑制剤</u> 骨粗鬆症	中外製薬共同	ロシュ
TT-063 (外用)	<u>エスフルルビプロフェン含有消炎鎮痛貼付剤</u> 変形性関節症、肩関節周囲炎、筋肉痛等	トクホン共同	トクホン

\*TS-071

一般名：ルセオグリフロジン水和物

\*\* CT-064

一般名：イバンドロン酸ナトリウム水和物、中外製薬における開発コードはRG484



# 医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

大正製薬開発品(続き)

(2013年10月31日現在)

	特長他 予定適応症等	開発形態	オリジン
フェーズ2(国内)			
NT-702 (経口)	<u>気管支拡張作用、細胞浸潤抑制作用</u> 気管支喘息	日産化学共同	日産化学
NT-702 (経口)	<u>血管拡張作用、血小板凝集抑制作用</u> 閉塞性動脈硬化症に伴う間歇性跛行	日産化学共同	日産化学
パルクス (注射)	<u>プロスタグランジンE1製剤</u> 腰部脊柱管狭窄症に伴う間歇性跛行 (適応追加)	自社	大正製薬/ 田辺三菱製薬
フェーズ1			
	対象疾患	自社／導入	国内／海外
TS-091	睡眠障害	自社	国内
TS-071	2型糖尿病	自社	海外
TS-111	うつ病	自社	海外

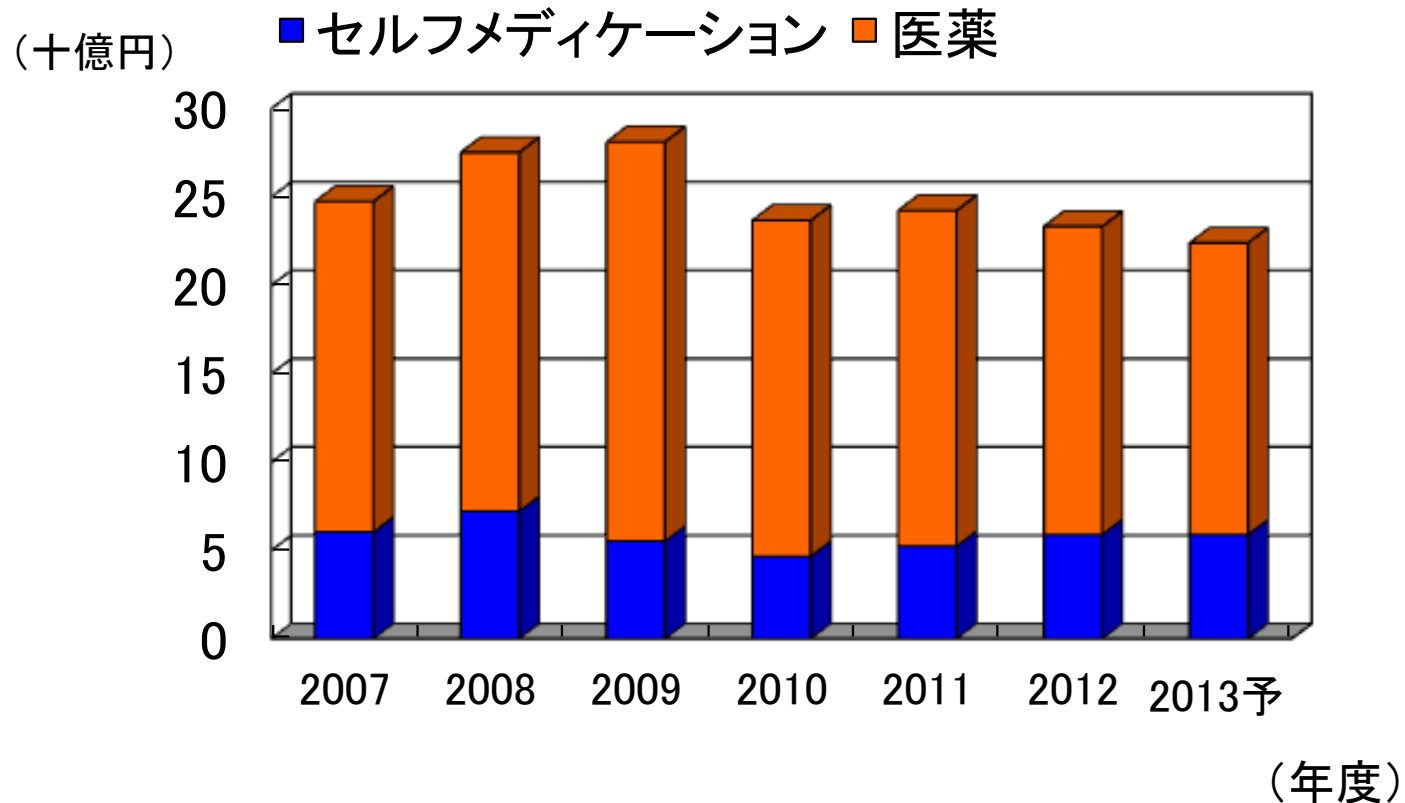




# 研究開発費の動向

2013年度2Q実績：107億円（前年同期比▲8億円）

2013年度計画：期初より3億円引き下げ、224億円（同▲9億円）



# 配当について



- 2013年度配当(予想): 1株当たり110円
    - 中間配当: 50円/株を2013年12月に実施予定
    - 期末配当(予想): 60円/株
  - ご参考: 2012年度配当: 1株当たり120円\*  
(中間: 60円、期末: 60円)
- \*大正製薬の創業100周年を記念し実施

# 參考資料



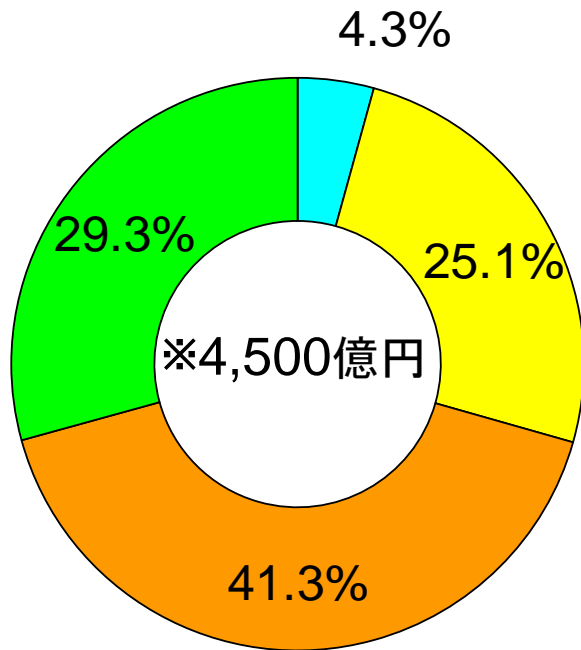
# OTC医薬品分類別構成比

国内OTC医薬品市場における構成比 ※ 分類不明分は除く

(2012年4-9月)

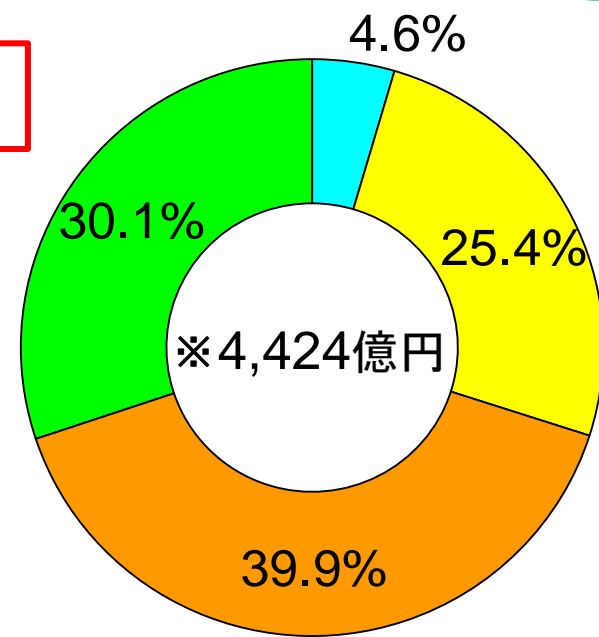
(2013年4-9月)

第1類の  
前年比  
105%



部外品を除く

前年比  
98%

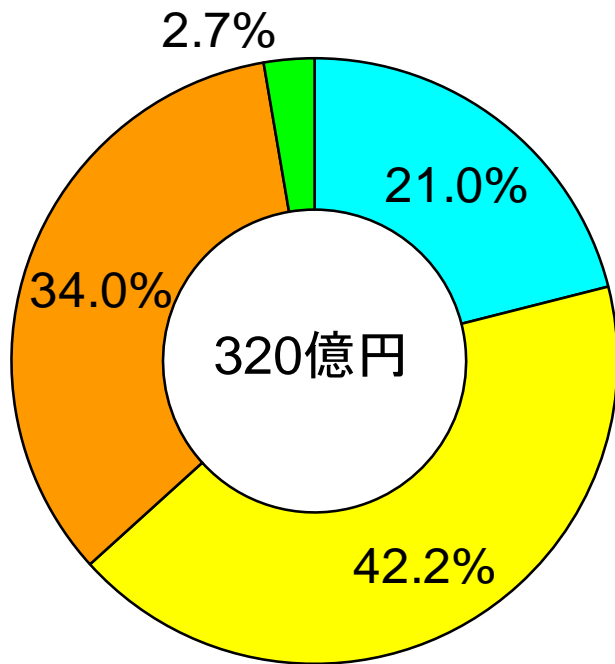


(インテージSDIデータ2013年10月時点、金額ベース、各年4-9月累計)



# 当社のOTC医薬品分類別売上構成比

2012年4-9月

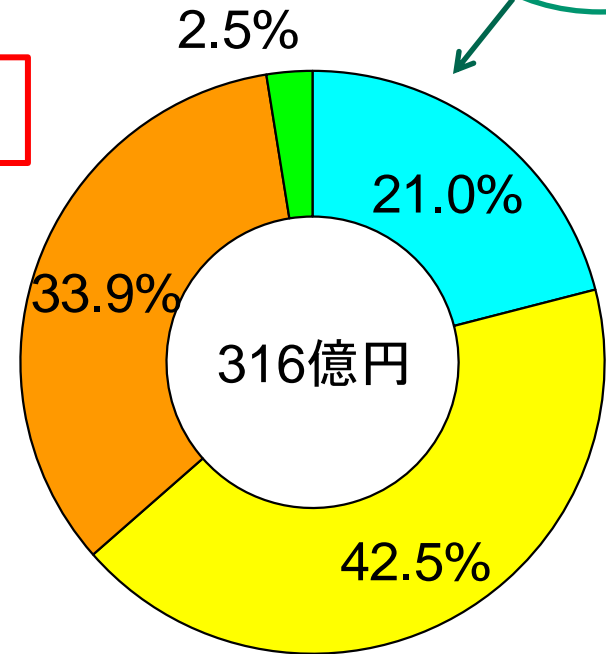


部外品を除く

前年比  
99%

- 第1類
- 指定第2類
- 第2類
- 第3類

2013年4-9月



第1類の  
前年比  
98%